

成人生年祝いは本来だと法人全体で盛大にお祝いを行っていましたが、コロナ禍では各事業所で実施することになりました。

生年祝い

居住支援事業所きさん ぽこ・あ・ぽこホーム



おめでとうございます！



余興でパブリカを踊りました♪



3月25日、ぽこ・あ・ぽこホームの利用者さんと職員で、佐次田昇さんの生年を祝う会を行いました。前日に「昇さん生年祝いで着るかりゆしウェアのサイズ合わせをしましょう」と声を掛けると「俺はまだじゃないよ。まえしろさん間違えてる～」と話していました。しかし、当日に会が始まると自身のことと気づき照れくさそうでした。祝い膳やお寿司のご馳走に「これおいしいね！」と箸が進み、お祝いの言葉や花束、利用者さん等で作成した記念品も贈呈され喜んで様子で終始嬉しそうにしていました。利用者さんの人生の節目に関われる事は、感慨深いものがあります。皆さんの喜ぶ姿やご馳走やケーキをおいしそうに会食する姿に、私たち職員は元気を貰います！これからも、利用者さんと共に楽しい時間を過ごして行きたいと思えます。（生活支援主任兼世話人：眞榮城 竹寿）

成人生年祝い

就労支援事業所こみこみ



成人を迎えた
島袋美則さん
伊波和さん
上江洲優真さん
還暦が屋嘉比政治さん
です。

寒さも和らぎ春の訪れを感じる素晴らしい日に「成人生年祝い」を行いました。今年を対象者が4人！(^-^)/☆♡ 昼食にケンタッキーのランチボックス（強い要望により♪）をお腹いっぱい食べ、お祝いにみんなで愛を込めて完成させた色紙やプレゼントを贈呈すると「何が入ってるのかなー？」と受け取る一人一人の笑顔にとっても嬉しくなりました。元気いっぱい二十歳も還暦も迎えられた事に保護者の方々へも感謝します(*^^*)若者ばかりではなく還暦を迎えた政治さんも負けじと頑張るぞー！！（残念ながら当日は不参加でした）（職業指導員：湯田 いくみ）



3月19日、今年度最後の誕生日会を行いました。主役2名の内一人の利用者さんが急遽お休みにになり、少人数でのちょっと寂しい誕生日会となってしまいました。しかし、少人数だからと言って侮ってはいけないのが子供達です！飾り付けやホワイトボードをカラフルに彩り、職員と一緒にきばきと準備を進めてくれる利用者さんたち。皆元気いっぱい誕生日会を盛り上げてくれました（*▽*）誕生日ケーキ・マカロン・ドリンクを頂き、皆美味しそうに頬張っていました！（児童指導員：仲宗根 敬）

コロナ禍・創作を通して春を感じる

地域活動支援センターみほそ



今月の創作活動は、利用者さんと一緒にピンク色のペーパークラフトを用いて桜の花の壁飾り作り、通り沿いには折紙で作ったお雛様とお内裏様を窓に貼り春を彩りました。法人の方針により現在も利用事業所1本化をお願いしている事から、通所される利用者さんは限られていますが、創作活動等を通して普段よりも深くコミュニケーションを取る事が出来ています。来所出来ない利用者さんとは、週に2~3回電話でコミュニケーションを取り繋がっています。でもやっぱり皆で活動出来る日が、待ち遠しい…。1日でも早くコロナが終息し、利用者の皆さんが笑顔で集える事を楽しみにしています～☆（指導員：宮平 いづみ）



令和3年度 年度末会

生活介護センター石川学院



3月28日に「年度末会」を開催しました。今年度も新型コロナウイルスの感染防止で外出行事を自粛した為、楽しみが少し減った様に思います。そこで、パラリンピックお楽しみ会等の外出以外の行事を計画しましたが、それでも「外出したい！！」との声が多くありました。以前は当たり前だった「外出行事による楽しさ」を今は感じる事が難しくなり残念に思います。今後も利用者さんに楽しんで貰える様な新たな企画を立てたいと思います！会ではピザとジュースを頂き、皆さん「おいしい」「又食べたい」と満足していました。コロナ感染拡大の状況が続きますが、安心して楽しめる日常に早く戻れる事を祈っています。

（生活支援員：川満 裕太郎）



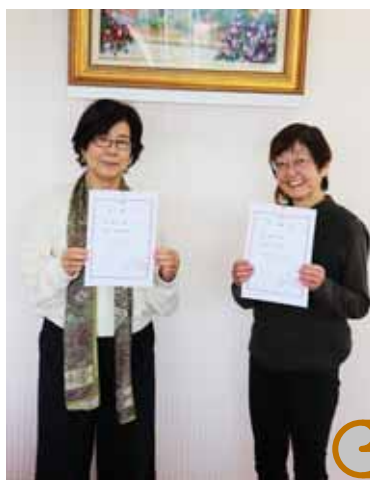
3月28日に3月末付けの小橋川施設長の定年退職やグループホームへ異動する職員の送別・激励会と利用者ミーティング、そして誕生会を同時に開催しました。退職や異動する職員等から数々の思い出話や温かいメッセージを頂くと、利用者さんから「ありがとうございました！」と感謝の言葉と花束が贈呈され、別れを惜しむ感動のシーンに目頭が熱くなりました。

また利用者ミーティングでは、ドライブに行きたい等、色々意見がでたので、コロナ感染防止対策を徹底しながら、行事を

行っていきます。そして、誕生会では2名の誕生者へ「誕生日おめでとうございます☆」とお祝いの言葉が掛けられ、皆でバースデーソングを歌ったり、ケーキやジュースを頂き楽しみました。 (生活支援員：翁長 哲二)

令和3年度第三者委員会議

社会福祉法人起産石川



第三者委員

両委員に委嘱状が交付されました。

村吉康江 委員
富田真理 委員

よろしく願い致します。

3月10日、令和3年度第三者委員会議が行われました。昨年同様、新型コロナウイルスの影響により委員による面談の機会は減ったものの、感染防止対策を行い計6回11名の面談を実施して頂きました。会議の中で第三者委員の方から「活動制限でストレスを抱えている方は多いと思う。人数制限を設けた野外活動など、いろいろアイデアを出し活動してほしい。また、話す機会も減っている。そういった方々の為にも第三者委員を活用してほしい」等のご意見を頂き、担当職員からは「面談を通し様々な気づきが得られた。コロナ禍だから出来ないのではなく、コロナ禍でも出来ることを！という姿勢で支援を行っていききたい」との意見が出されました。今後も、第三者委員の方の助言をもとに活動を継続していききたいと思います。 (苦情受付担当者：屋良 朝洋)



社会福祉法人 起産石川

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-1

障がい者支援施設石川学院

児童デイサービス石川学院

Tel:098-964-2286 Fax:098-965-6004

生活介護センター石川学院

Tel:098-964-2239 Fax:098-965-6004

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

就労支援事業所 こみこみ

(就労移行支援 就労継続支援B型)

Tel:098-963-0073 Fax:098-963-0074

居住支援事業所 花かご

ふきのとうホーム・のぼたんホーム1F/2F

居住支援事業所 風

かぐや姫ホーム・ちゅうりっぷホーム

居住支援事業所 きさん

ぼこ・あ・ぼこホーム

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

相談支援センター石川学院

強度行動障害支援者養成研修及び、精神障害者の地域移行関係職員に対する研修を修了した、相談支援専門員を配置しています。

Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-2

ロジャーズ館 3F

社会福祉法人 起産石川 事務局

Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106

うるま市石川2-2-1 108号

地域活動支援センターみほそ

Tel:098-989-8146

Fax:098-989-8147

Mail: mihoso@otc.ne.jp

facebook



発行日:令和 4年 4月15日発行

発行責任者:理事長 太 直美

編集担当者:事務局長 大嶺 徳子

<https://kisanishikawa.jp/>



うるま市福祉のお仕事・就活応援フェア



3月18日、うるま市健康福祉センターうるみんで行われた就活応援フェアに当法人も参加しました。このフェアは、うるま市社会福祉協議会が主催で市の失業率と福祉人材不足から企画され、市内の社会福祉法人8事業所が参加しました。一般、学生の方が足を運ばれ、福祉の仕事について真剣に興味を持たれている姿

が見られました。福祉に興味があっても、コロナ禍でなかなか一歩踏み出せない方にとっても、我々福祉事業所にとっても良いイベントだったと感じています。主催者に感謝するとともにイベントの継続を期待しています。有難う御座いました。(相談員:屋良 朝洋)



職員インタビューNo.70

障がい者支援施設石川学院

生活支援員 翁長 哲二

Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください:

経緯:障がい者支援施設に家族(弟)が入所していて、必要なサポートが出来ると思い入職しました。魅力は、利用者さんに寄り添いながら必要なサポートが出来ることです。

Q2:モットーは?: 利用者さんの気持ちを汲み取り、寄り添う事。

Q3:利用者さんとの思い出は?:

運動会で利用者さんが30m走で一息懸命かけっこをしたり、昼食の際にバーベキューを美味しく食べてたりと、行事を通して普段はみられない行動や笑顔を見る事が出来た事です。

Q4:趣味・はまっていることは?: ゴルフと音楽鑑賞

Q5:今後の目標は?:

施設を利用している利用者さん達が、快適な生活ができるように環境を整える事。

Q6:バトンはどこへ?:

いつも元気いっぱい、入所の上地主任です。



リモート面会は引き続き実施いたします。ご希望される方は日程調整等がございますので、事前に下記までご連絡下さい。

入所施設 サービス管理責任者 喜久川政博 098-964-2286